

# 検査情報月報 7月号 ◀ 概要版 ▶



▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、**検査情報**月報を発行しています。



## 医動物・種類同定検査結果（令和3年4月～6月）

種類同定検査は、主に区福祉保健センターからの依頼により、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫類等を対象に実施しています。昆虫類の種類を同定することで、発生源、発生時期、人に対する害などが分かり、効果的な対策を立てることにつながります。

**主な結果** ▶ 種類同定検査報告件数は、**昆虫類 8 件**（ハエ目 2 件、ハチ目 1 件、カメムシ目 5 件）、**その他の節足動物 3 件**（ダニ目 1 件、クモ目 2 件）でした。

## 公衆浴場水の水質検査結果（令和 2 年度）

水系感染症を予防するため温浴施設の利用水には塩素系消毒剤を注入しており、日常の残留塩素濃度管理が重要です。令和2年度に公衆浴場施設の残留塩素の管理状況を把握する目的で行った1施設の水質検査結果を報告します。

**主な結果** ▶ **温泉系統の検査** 浴槽水から**結合残留塩素が6.2～6.9mg/L**検出されました。7月、10月とも良好な結合残留塩素による管理状況でした。  
▶ **井水系統の検査** 7月と比べ10月は多くの浴槽水から**遊離残留塩素が検出**されました。  
▶ **塩素系消毒剤の検査** 温泉系統に使用している次亜塩素酸ナトリウムは有効塩素濃度が納品時には12%以上ですが、屋外に貯蔵されていることもあり**補充後の日数が経過するにつれて1.55%～7.55%に低下**していました。

## 横浜市衛生研究所WEBページ情報（令和3年6月）

当 WEB ページは平成 10 年 3 月に開設され、感染症、保健、食品衛生、生活環境衛生、薬事などの情報を提供しています。この記事ではアクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられていたかを解説しています。

**主な結果** ▶ 6 月の総アクセス件数は、221,759 件でした。このうち、**横浜市感染症情報センターが提供している記事へのアクセスが、約 8 割**を占めました。  
▶ 横浜市では、衛生研究所 感染症・疫学情報課内に横浜市感染症情報センターを設置しています。本センターでは感染症対策の一環として、市内における患者情報及び病原体情報を収集・分析し、速やかに提供・公開しています。  
▶ アクセス件数上位 8 位には、「**RS ウイルスによる気道感染症およびパリビズマブ（シナジス）について**」が入っていました。今年は例年より早く、RS ウイルス感染症の患者報告数が急増していることが影響しているようです。